

ECB、3会合連続となる大幅利上げを決定

ポイント① 3会合連続となる大幅利上げ決定

ECB（欧州中央銀行）は3月16日の理事会にて、政策金利を0.5%引き上げることを決定しました。会合直前には、米地方銀行の破綻や欧州大手銀行の経営不安が募り、市場では利上げ幅が0.25%に縮小されるとの見方が強まっていた中、ECBはインフレの抑制（2月のコアCPIは5.6%と、統計開始来最も高い伸び率）に重きを置き、3会合連続の大幅利上げに踏み切った格好となりました。

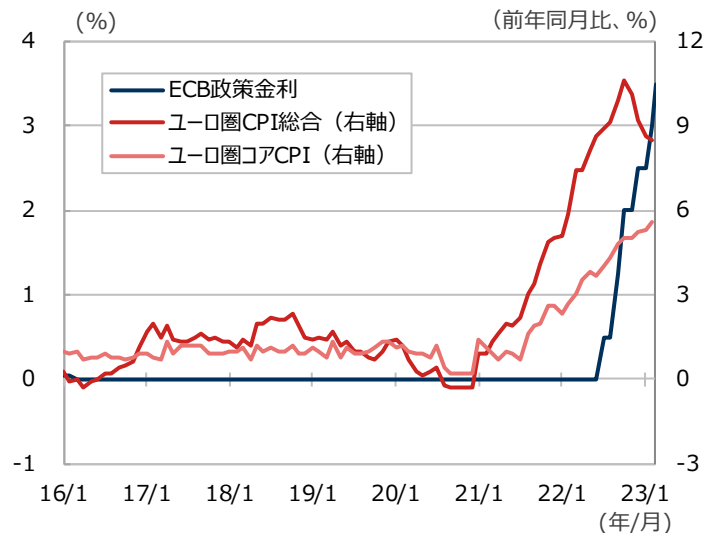
ポイント② 今後も利上げが継続される見通し

ラガルドECB総裁は、欧州の銀行がリーマンショック時と比べ「はるかに堅固な状況である」ことを強調した一方、必要に応じて流動性支援を行なう方針を示しました。また利上げの先行き等については、足元の不確実性の強い環境が緩和し、ECBのシナリオ通りに物価・経済等が推移するのであれば「さらなる行動が必要」と、利上げ継続の可能性を示唆したほか、物価の安定と金融の安定については「トレードオフ（一得一失の関係）が存在しない」と述べ、「たとえ銀行が流動性問題に直面しても、それは流動性供給措置によって対応され、金融政策で対応されるものではない」と解釈できることから、利上げが継続される見込みが高いと考えています。

ポイント③ ユーロ圏の国債利回りは大幅上昇

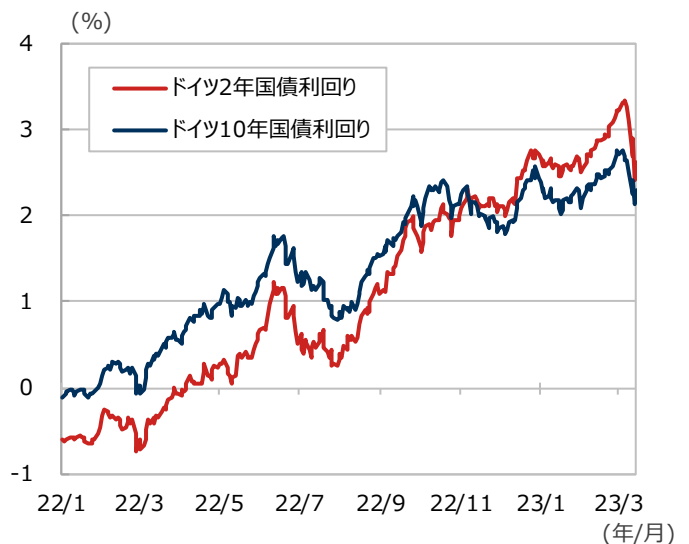
市場では一連の銀行問題に対する当局の対応を受け、欧州各国の債券利回りが軒並み大きく上昇しました。加えて欧州では、米国同様、長期債利回りが短期債利回りを下回る“逆イールド”が継続しており、同状況は長短金利差で利鞘を稼ぐ金融機関の収益悪化要因ともなるため、引き続き緊張が高まる市場動向を注視していく必要がありそうです。

ユーロ圏の政策金利・CPI（消費者物価指数）の推移



期間：（CPI）2016年1月～2023年2月、月次
（政策金利）2016年1月末～2023年3月16日、月次
コアCPIは、エネルギー、食品、酒、たばこを除く
政策金利は主要ファイナンスレート
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

ドイツの2年・10年国債利回りの推移



期間：2022年1月3日～2023年3月16日、日次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

3月31日 ユーロ圏消費者物価指数（3月）